



Press release

2017年10月6日

アクサ生命、鳥取県と健康増進に関する連携協定を締結

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼CEO:ニック・レーン)は、2017年10月6日、鳥取県(知事:平井 伸治)と、鳥取県民の健康づくりの推進に関する取り組みに関し、協定を締結しました。

本協定は、鳥取県と当社が緊密に連携・協働し、県が策定した「鳥取県健康づくり文化創造プラン」の理念・目的である「健康づくり文化」の定着と「健康寿命」の延伸を目指すことを目的としています。

本協定の締結により、当社が保険事業や健康経営推進、CR活動などを通じて培った知見と人的ネットワークを鳥取県の各種施策にお役立ていただき、県民の皆さまの健やかな生活と地域の発展のために共に取り組んでまいります。

(連携・協働事項)

上記の目的を達成するため、特に職域における健康づくり対策として次に掲げる事項について連携・協働し、推進する。

- (1) 県内企業及び団体等における健康経営の推進に関すること
- (2) 県内企業及び団体等(従業員、家族を含む)の健康づくりの推進に関すること
- (3) その他県民サービスの向上及び地域社会の活性化に関すること

アクサ生命は、鳥取県内において、1970年2月に倉吉商工会議所の特定退職金共済制度、1974年4月に米子商工会議所の生命共済制度を受託以来、事業者の皆さまの福利向上と地域の発展を目的に、商工会議所共済制度の推進をはじめとする地域に根差した活動を続けてまいりました。

2016年からは、鳥取県が主催し、鳥取商工会議所連合会が特別後援する「鳥取県民健康になろうプロジェクト」に特別協賛し、県民の皆さまの健康づくりや、県内の事業者の皆さまに対する健康経営の普及啓発をサポートしております。

本協定締結を契機に、アクサ生命は今後さらに、県民の皆さまのよりよい人生のための「パートナー」となることを目指した取り組みを進めてまいります。

アクサ生命について

アクサ生命はAXAのメンバーカンパニーとして1994年に設立されました。AXAが世界で培ってきた知識と経験を活かし、237万の個人、2,200の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2016年度には、2,522億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。また、「アクサ損害保険」と「アクサダイレクト生命」を連結する親会社として、子会社各社の経営管理・監督を行っています。

AXAグループについて

AXAは世界64ヶ国で16万5,000人の従業員を擁し、1億700万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2016年度通期の売上は1,002億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は57億ユーロ、2016年12月31日時点における運用資産総額は1兆4,290億ユーロにのぼります。AXAはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、AXAの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

アクサ生命保険株式会社 メディア&パブリックリレーションズ
電話: 03-6737-7140

FAX: 03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>